

2022年度第3四半期決算ハイライト

2023年1月

株式会社しずおかフィナンシャルグループ

第14次中期経営計画

COLORS ~多彩~

2020-2022

2022年度第3四半期決算の概要（連結）

(億円、%)	2022年度 第3四半期	前年同期比	
		増減額	増減率
連結粗利益	1,184	△38	△3.1
営業経費（△）	719	△22	△3.0
持分法投資損益	3	△16	△83.8
連結業務純益^{※1}	472	△1	△0.3
与信関係費用（△）	35	△12	△25.5
株式等関係損益	119	+86	+263.2
連結経常利益	558	+57	+11.4
特別損益	△1	△60	△101.7
税引前純利益	557	△3	△0.5
法人税等合計（△）	160	△2	△1.2
連結四半期純利益^{※2}	397	△1	△0.2

ROE	4.8	+0.0	-
-----	-----	------	---

※1 連結業務純益=単体業務純益+連結経常利益-単体経常利益

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

連結粗利益 1,184億円（6期振り減益）

静岡銀行単体の業務粗利益の減少（△29億円）を
主因に△38億円減少

連結業務純益 472億円（2期連続減益）

一般貸倒引当金繰入額、営業経費が減少した一方で、
業務粗利益の減少等により△1億円減少

連結経常利益 558億円（2期振り増益）

進捗率 73.4%

個別貸倒引当金繰入額が増加した一方で、
株式等関係損益が増加し、+57億円増加

連結四半期純利益 397億円（3期振り減益）

進捗率 73.4%

関係会社株式売却益（55億円）の剥落により
特別損益が減少し、△1億円減少

主要グループ会社の業績

静岡銀行単体

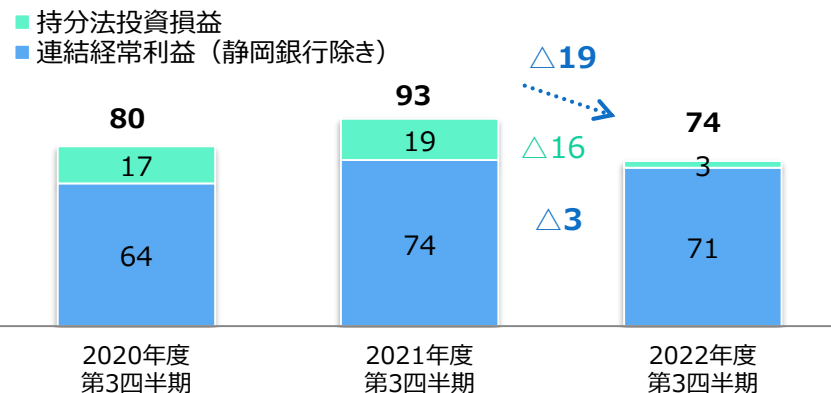
	2022年度 第3四半期	前年同期比	
		増減額	増減率
(億円、%)			
業務粗利益	1,073	△29	△2.6
（コア業務粗利益）	1,156	+72	+6.6
資金利益	919	△8	△0.8
役務取引等利益	158	+46	+40.9
特定取引利益	13	+6	+89.7
その他業務利益	△17	△73	△129.4
（うち国債等債券関係損益）	(△83)	(△101)	-
（うち外為売買益）	(64)	(+30)	+86.3
経費（△）	653	△20	△2.9
実質業務純益	419	△10	△2.2
コア業務純益（除く投信解約損益）	501	+120	+31.6
一般貸倒引当金繰入額（△）	△15	△36	△168.4
業務純益	434	+26	+6.4
臨時損益	86	+59	+211.9
うち不良債権処理額（△）	43	+27	+171.6
うち株式等関係損益	118	+86	+264.6
経常利益	520	+85	+19.4
特別損益※	2	△57	△97.0
税引前純利益	522	+28	+5.6
法人税等合計（△）	138	+2	+1.7
四半期純利益	384	+26	+7.1
※ 特別損益の減少は、関係会社株式売却益60億円の剥落によるもの			
与信関係費用（△）	28	△9	△23.5

静岡銀行以外の主要グループ会社

	静岡経営 コンサルティング		静岡リース	
	2022年度 第3四半期	前年同期比	2022年度 第3四半期	前年同期比
売上総利益	8	△0	25	+1
経費（△）	6	+1	12	+0
経常利益	2	△1	13	+1
四半期純利益	2	△1	9	+1

	静岡キャピタル		静岡ティーエム証券	
	2022年度 第3四半期	前年同期比	2022年度 第3四半期	前年同期比
売上総利益	4	+1	51	△7
経費（△）	2	+0	37	△2
経常利益	2	+0	14	△5
四半期純利益	2	+0	10	△4

【連結経常利益（静岡銀行除き）・持分法投資損益】



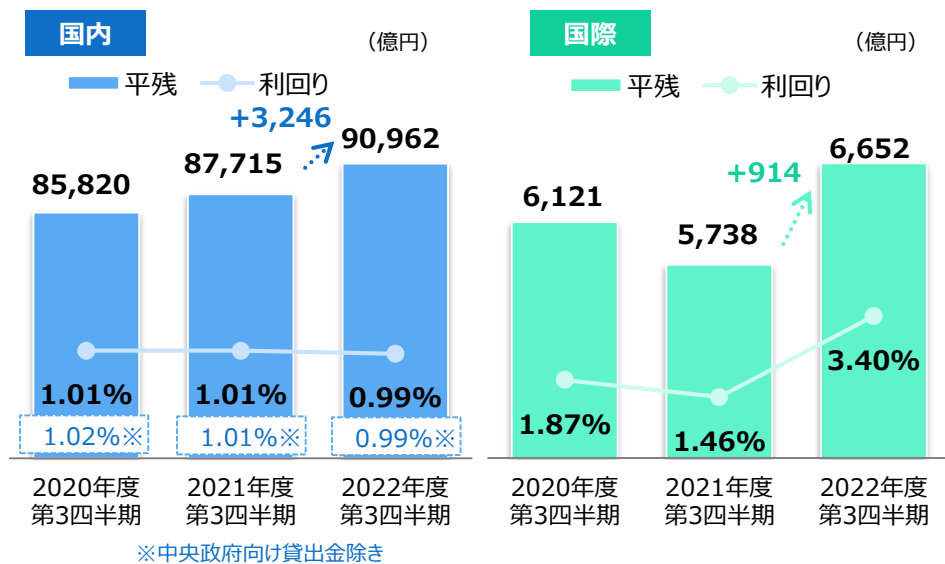
資金利益（静岡銀行単体）

資金利益全体は、国際業務部門の資金調達費用増加を主因に減少も、国内業務部門は順調に増加

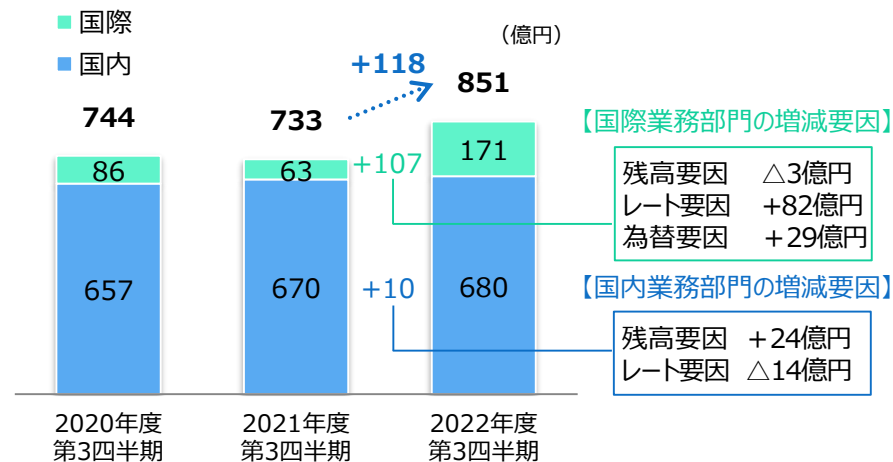
資金利益の内訳

(億円)	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年 同期比
資金利益	855	927	919	△8
国内業務部門	771	836	843	+7
貸出金利息	657	670	680	+10
有価証券利息配当金	116	157	154	△3
うち債券	15	14	30	+16
うち投信	2	30	4	△26
資金調達費用(△)	10	9	6	△2
うち預金等利息(△)	10	9	7	△1
その他	8	18	16	△2
国際業務部門	83	91	76	△15
貸出金利息	86	63	171	+107
有価証券利息配当金	58	63	100	+37
うち債券	45	35	73	+38
うち投信	9	20	10	△10
資金調達費用(△)	66	37	225	+188
うち預金等利息(△)	19	8	97	+89
その他	5	2	30	+28

貸出金残高（平残）・利回り推移



貸出金利息の推移



貸出金（静岡銀行単体）

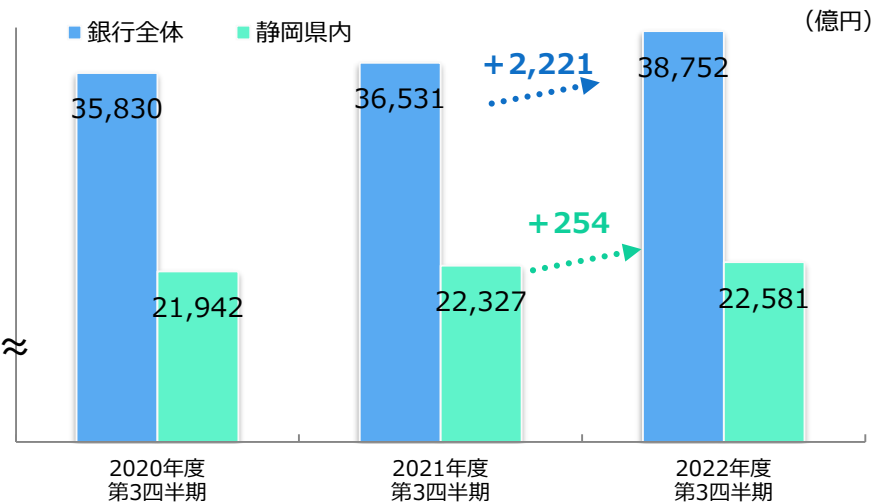
総貸出金平残は、中小企業向け、消費者ローンを中心に増加（年率+4.4%）

貸出金残高（平残）

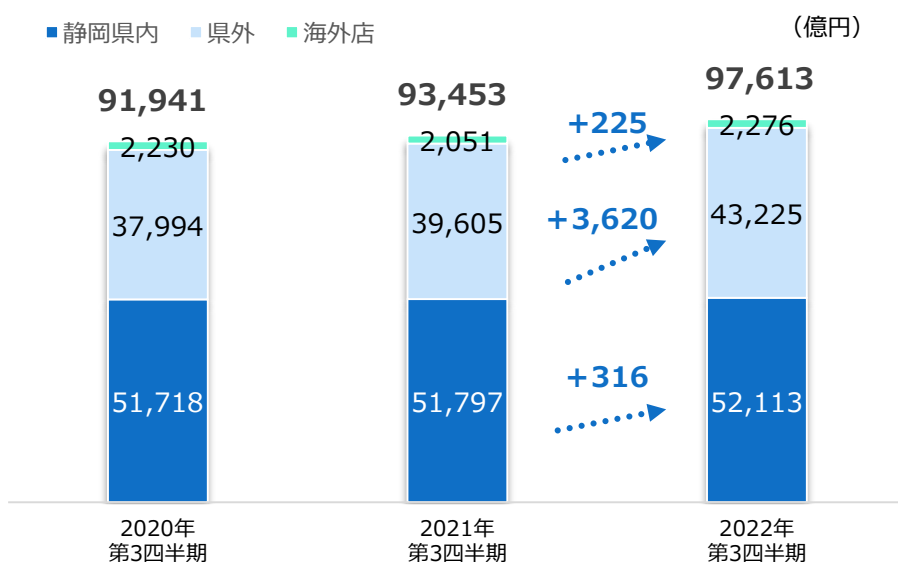
	平残	前年同期比 増加額	年率
総貸出金	9兆7,613億円	+4,160億円	+4.4%
中小企業向け 貸出金	3兆8,752億円	+2,221億円	+6.0%
大・中堅企業向け 貸出金	1兆8,680億円	+413億円	+2.2%
消費者ローン	3兆6,651億円	+1,388億円	+3.9%
外貨建 貸出金	6,286億円	+959億円	+18.0%

残高要因 △101億円
為替要因 +1,060億円

うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



貸出金残高（地域別内訳）

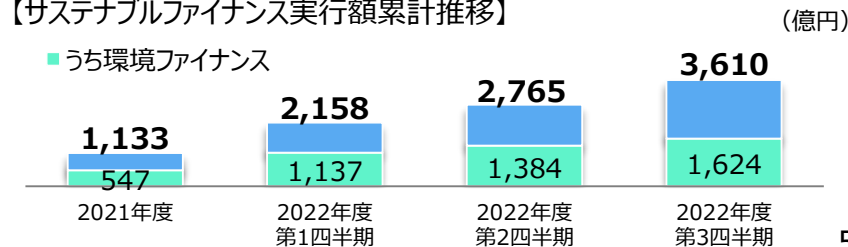


サステナブルファイナンスの推進

- 2030年度迄目標**2兆円**（うち環境関連ファイナンス**1兆円**）

	2022年度 目標額	2022年度 第3四半期迄実績	2022年度 進捗率
サステナブルファイナンス	1,150億円	2,477億円	215%
うち環境関連ファイナンス	575億円	1,077億円	187%

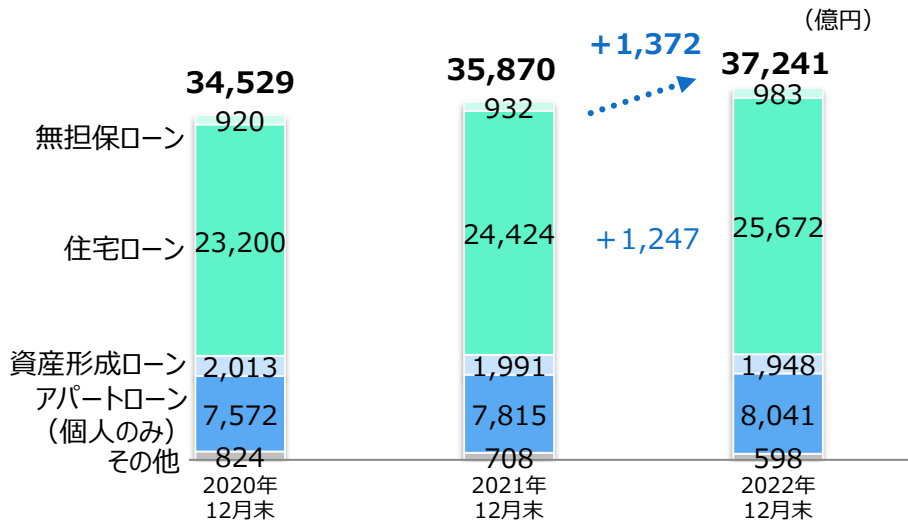
【サステナブルファイナンス実行額累計推移】



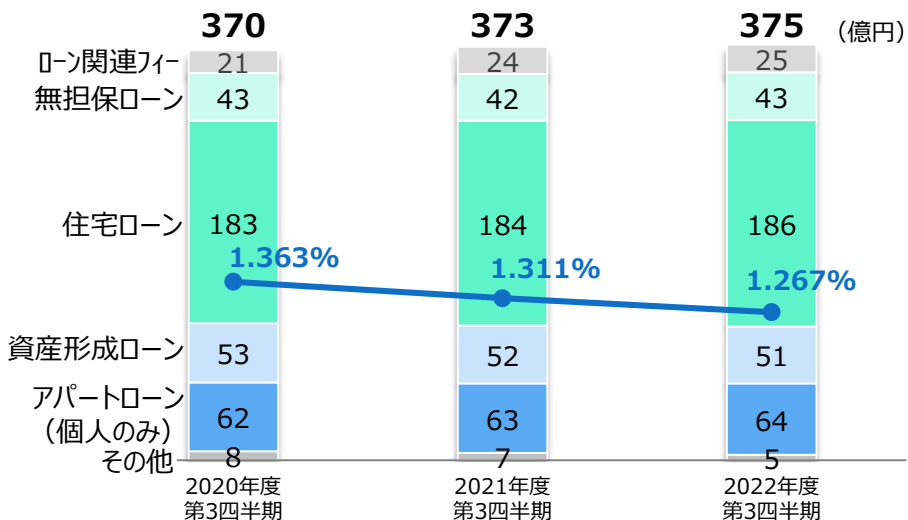
消費者ローン（静岡銀行単体）

消費者ローン未残は、住宅ローン残高を中心に増加

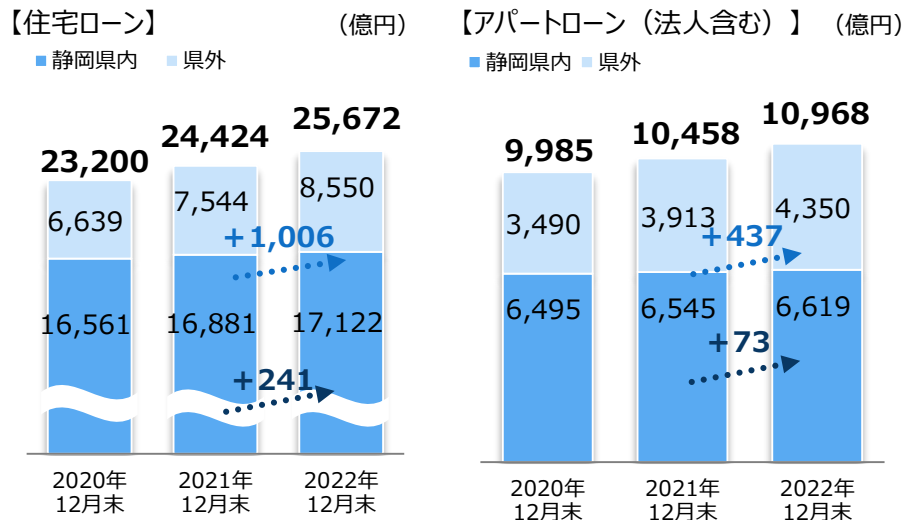
消費者ローン未残推移



消費者ローン利息額、手数料およびレートの推移



住宅ローン・アパートローンの地域別残高



延滞率・入居率の状況

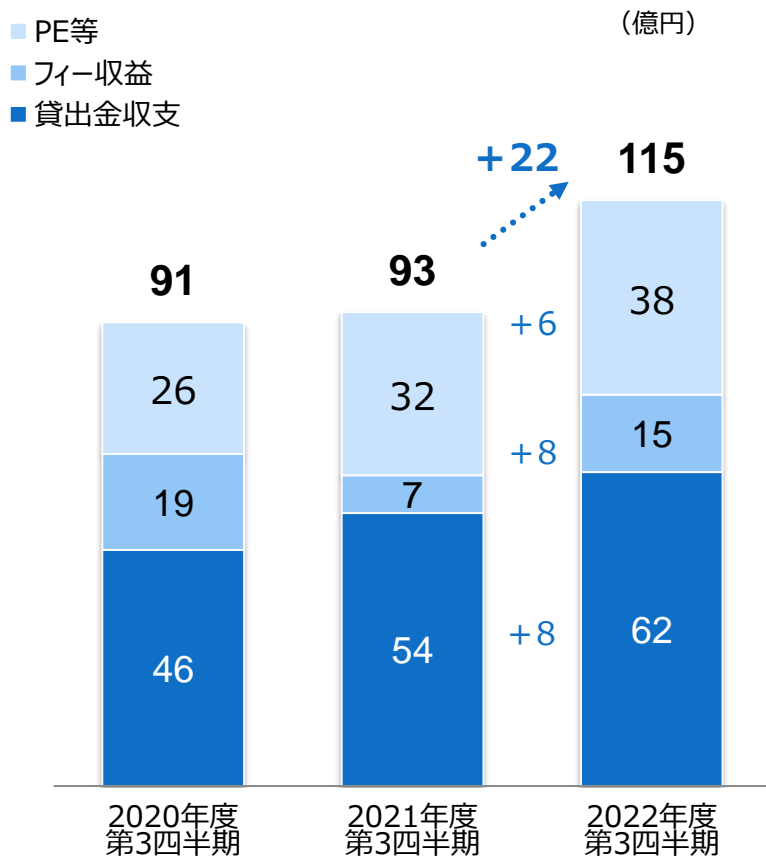
【延滞率（3か月以上）】	2020年12月末	2021年12月末	2022年12月末
住宅ローン	0.13%	0.11%	0.09%
アパートローン（法人含む）	0.05%	0.17%	0.02%
資産形成ローン	0.12%	0.27%	0.29%

【賃貸用不動産入居率】	2019年12月末	2020年12月末	2021年12月末
静岡県内	92.7%	92.5%	93.5%
県外	93.2%	93.3%	94.1%

ストラクチャードファイナンス（静岡銀行単体）

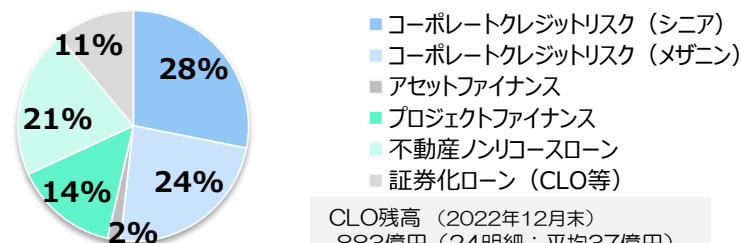
ストラクチャードファイナンス収入は貸出金収支、フィー収益、PE等いずれも増加し増収

ストラクチャードファイナンス 収入推移



SF貸出金の収益性指標	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年同期比
ROA (総資産利益率)	1.07%	1.06%	△0.01pt
RORA (リスクアセット対比利益率)	1.94%	1.82%	△0.12pt

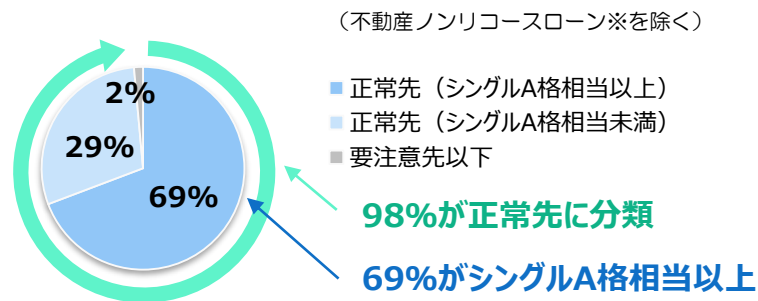
SF貸出金 残高構成割合 (2022年度第3四半期平残7,585億円)



CLO残高（2022年12月末）
883億円（24明細：平均37億円）
全てAAA格
劣後比率は35.0%~41.8%

分散を効かせたポートフォリオ
(円貨：外貨 = 6：4)

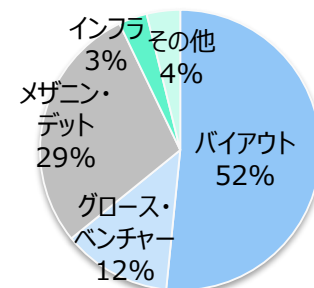
SF貸出金 信用格付別残高割合



※不動産ノンリコースローンLTV平均59.5%

プライベートエクイティ投資 種類別出資約束額割合

S F 貸出金同様、分散を効かせた
ポートフォリオ
出資件数：103件（うち海外44件）



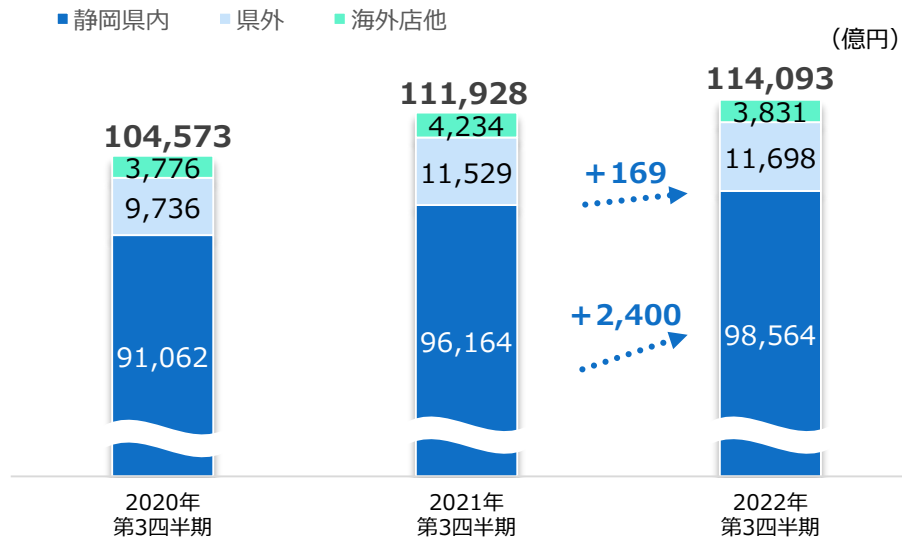
預金（静岡銀行単体）

総預金平残は、個人預金を中心に増加（年率+1.9%）

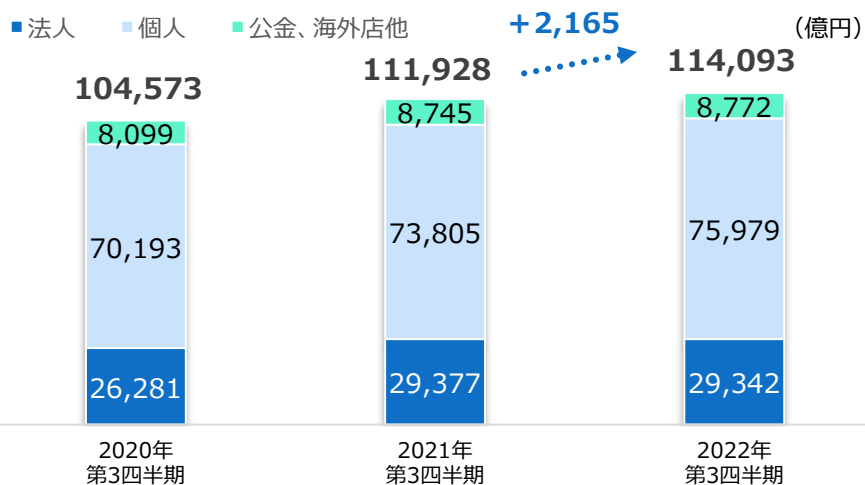
預金残高（平残）の推移

(億円)	平残	前年同期比増減額	年率
総預金	11兆4,093億円	+2,165億円	+1.9%
静岡県内預金	9兆8,564億円	+2,400億円	+2.4%
法人預金	2兆9,342億円	△36億円	△0.1%
個人預金	7兆5,979億円	+2,174億円	+2.9%
公共預金	3,373億円	+24億円	+0.7%
譲渡性預金	890億円	△449億円	△33.5%

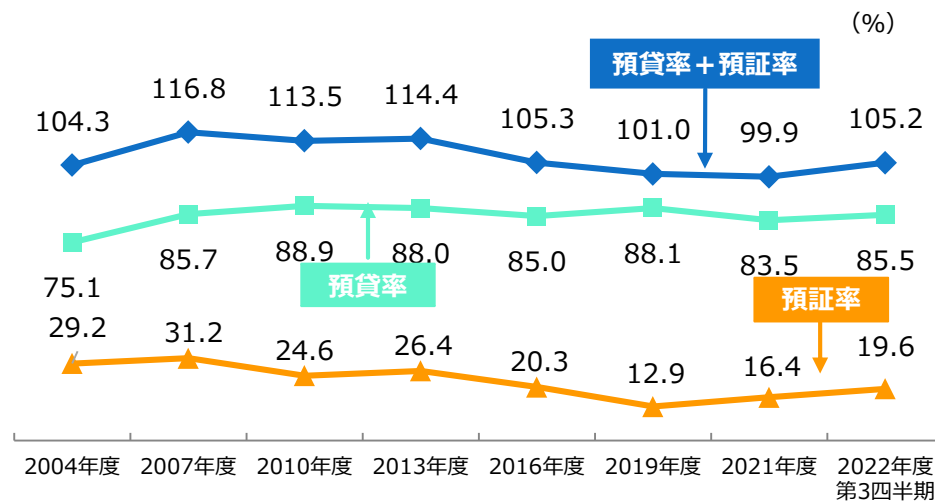
預金残高（地域別内訳）



預金残高（平残）



預貸率・預証率の推移（NCD除き）



有価証券（静岡銀行単体）

国内外の金利上昇により、債券の評価損益は悪化するも、有価証券全体では2,558億円の評価益を維持

有価証券の状況

※1 残高は評価損益を除く取得原価ベース

(億円)	残高※1		評価損益		
	2022年12月末	2022年9月末比	2022年12月末	ヘッジ考慮後	2022年9月末比
	23,966	+792	+2,558	+2,654	△179
株式	1,024	△259※2	+3,224	-	+30
円債	14,675	+1,311	△370	△320	△236
(うち国債)	(7,610)	(+1,122)	(△237)	(△186)	(△156)
外債	4,697	△300	△403	△358	+10
(うち固定)	(2,417)	(+12)	(△125)	(△79)	(+33)
(うち変動)	(2,279)	(△313)	(△278)	-	(△23)
投信	2,726	+4	△15	-	+25
その他	844	+35	+122	-	△7

※2 持株会社体制への移行に伴い適格現物分配した子会社等の株式（△242億円）を含む

有価証券関係損益

(億円)	2021年度第3四半期	2022年度第3四半期	前年同期比
有価証券利息配当金	220	254	+34
うち円債	14	30	+16
うち外債	35	73	+38
うち投信（うち解約損益）	50 (31)	15 (2)	△36 (△29)
うち投資事業組合	25	35	+11
国債等債券関係損益	18	△83	△101
うち売却益	65	136	+70
" 売却損・償還損(△)	48	219	+171
株式等関係損益	32	118	+86
うち売却益	40	119	+79
うち売却損・償却(△)	8	1	△7

〔平均残存期間〕（金利ヘッジ済分は除く）

※先物を除く

	2021年12月末	2022年3月末	2022年9月末	2022年12月末
円債	3.22年	6.17年	6.40年	6.41年
外債※	3.50年	4.15年	2.65年	2.65年

〔米ドル債入替による効果シミュレーション※〕

	上期	10-12月
売却	928億円	258億円
買入	655億円	214億円
売却損益	△101億円	△29億円

※アセットスワップ取引を除く

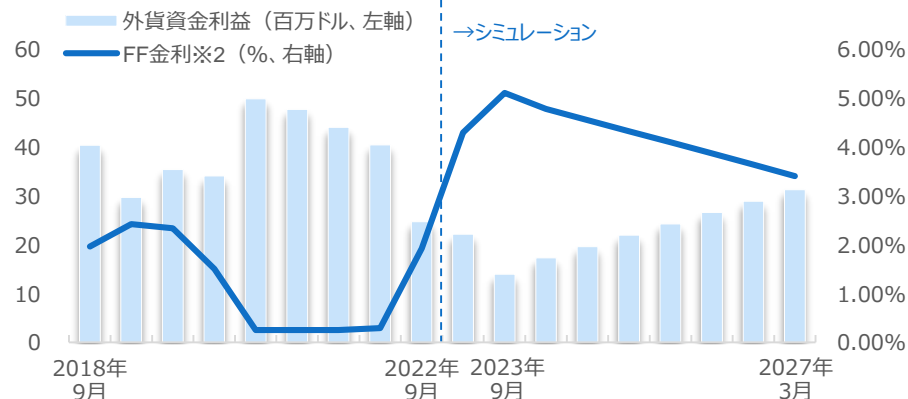
高利回り債への入替による
資金利益、評価損益の改善効果

＜入替を実施しない場合との比較＞

- ① 資金利益（年換算）
+20億円改善
- ② 2022年12月時点 評価損益
+142億円改善
(実現損考慮後+13億円)

外貨ポートフォリオ（資産負債）全体の資金利益※1見通し

- 外債運用において逆ザヤも存在するが、外貨の運用調達とも多様化しており外貨資金利益全体ではプラスを確保
- 2023年上半期までは利上げの影響により外貨資金利益は減少する見込みも、以降は増加する見通し



※1 貸出金、有価証券、預金、社債などを含む全体の資金利益 ※2 FF金利は市場参加者による見通し（2022年11月末時点のポートフォリオに基づく試算）

役務取引等利益・特定取引利益

役務取引等利益は、法人関連収益の増加、役務取引等費用の減少により増加

BK：静岡銀行 SMC：静銀経営コンサルティング リース：静銀リース TM証券：静銀ティーエム証券

役務取引等利益・特定取引利益の状況

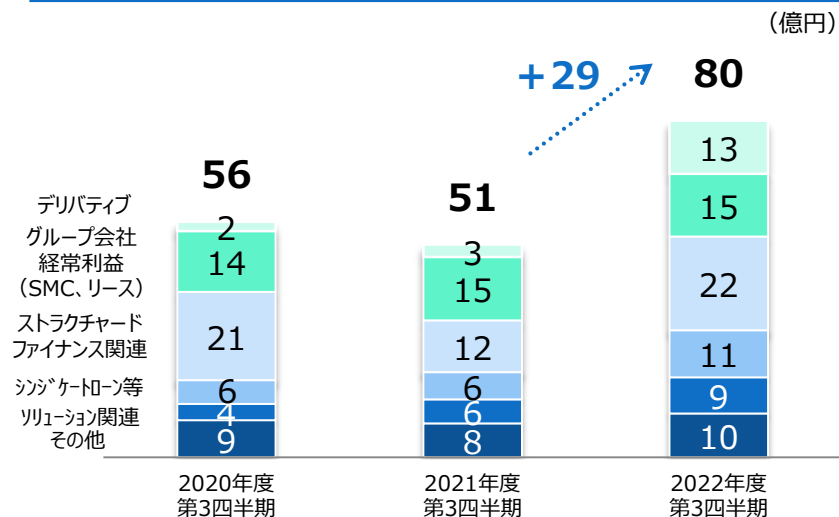
(億円)	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年 同期比
【連結】役務取引等利益	239	233	276	+43
【BK単体】役務取引等利益	121	112	158	+46
役務取引等収益	233	229	256	+27
役務取引等費用 (△)	113	117	98	※△19

※勘定科目変更による影響（団信配当金+13、投資事業組合手数料△11）

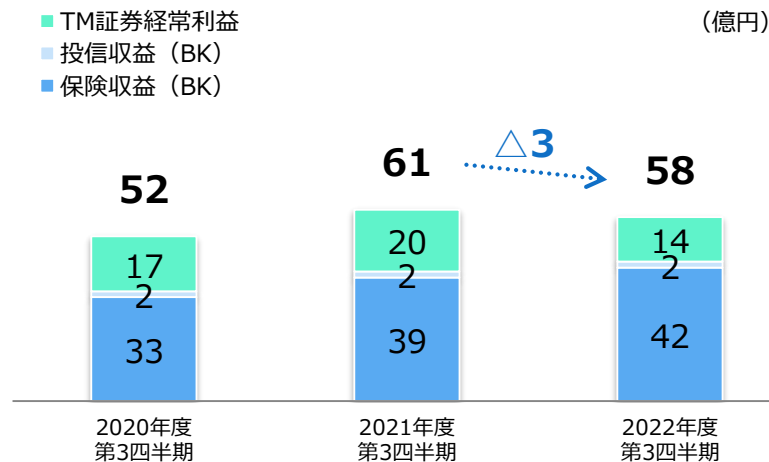
<BK主要利益項目（支店営業部門）>

法人関連	39	33	52	+20
ストラクチャードファイナンス関連	21	12	22	+10
シジケートローン等	6	6	11	+5
ソリューション関連 （ビジネスマッチング、補助金支援等）	4	6	9	+3
その他（バナカローン・PIF等）	9	8	10	+2
その他融資関連	25	30	28	△2
預り資産関連	35	41	44	+3
投信	2	2	2	△0
保険	33	39	42	+3
為替手数料（収支）	45	42	40	△3
特定取引利益【単体】	7	7	13	+6
うちデリバティブ	2	3	13	+10

法人関連収益（BK、SMC、リース）



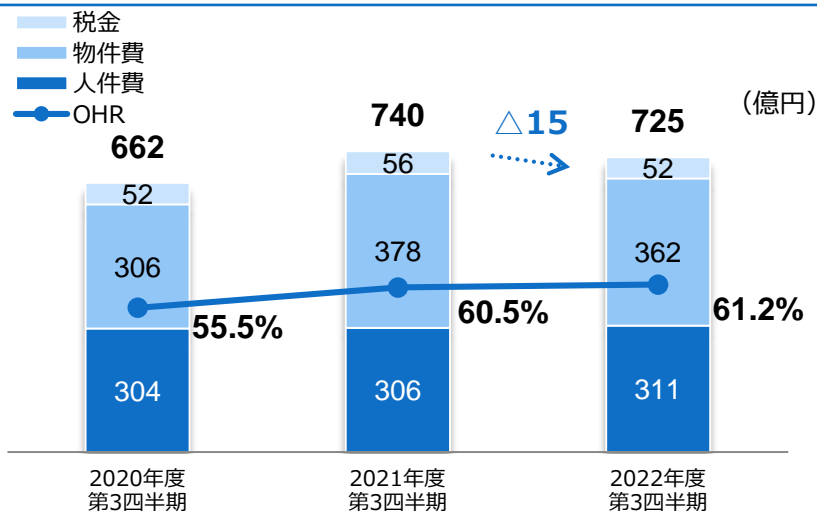
預り資産収益（BK、TM証券）



経費

2022年度第3四半期の経費は前年同期比減少

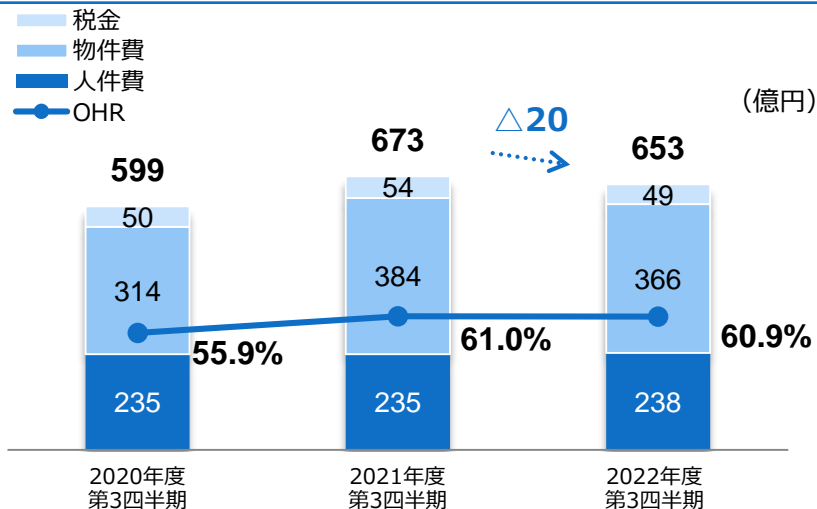
経費およびOHRの推移（連結）



経費の主な増減要因（連結）

	増減額	主な増減
税金	△4億円	消費税△4億円
物件費	△16億円	預金保険料△11億円
人件費	+6億円	静岡銀行+3億円 SFG+2億円
合計	△15億円	

経費およびOHRの推移（静岡銀行単体）



経費の主な増減要因、次世代勘定系システム関連経費

	増減額	主な増減
税金	△4億円	消費税△4億円
物件費	△18億円	預金保険料△11億円 減価償却費△12億円
人件費	+3億円	給与等+3億円
合計	△20億円	
[参考]		
うち次世代勘定系システム 関連経費（通期見込額）		79億円（前年同期比△12億円） （通期見込額103億円）

与信関係費用（静岡銀行単体）

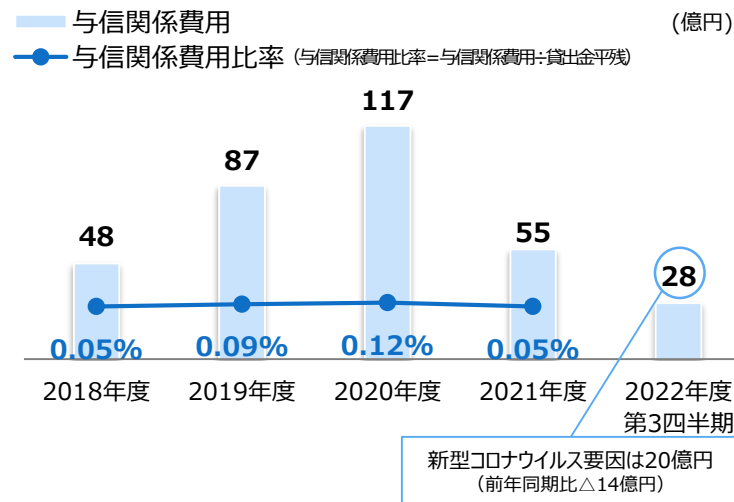
個別貸倒引当金の増加を主因に前年同期比増加も、低水準で推移

与信関係費用の内訳

(億円)	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年 同期比
一般貸倒引当金繰入額 ①	31	21	△15	△36
個別貸倒引当金繰入額 ②	59	14	41	+27
その他不良債権処理額 ③ ※	1	2	2	+0
与信関係費用 (①+②+③)	91	37	28	△9

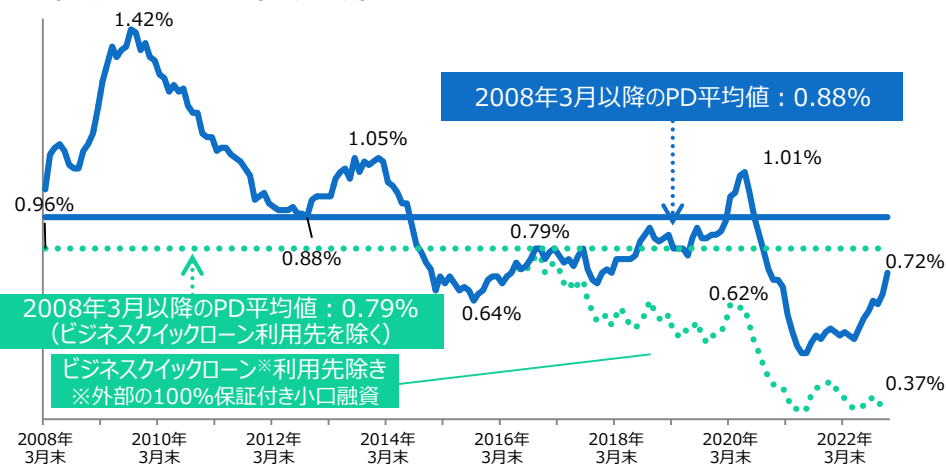
※ 信用保証協会負担金、偶発損失引当金繰入額、貸出債権等売却損などを含む

与信関係費用・与信関係費用比率の推移

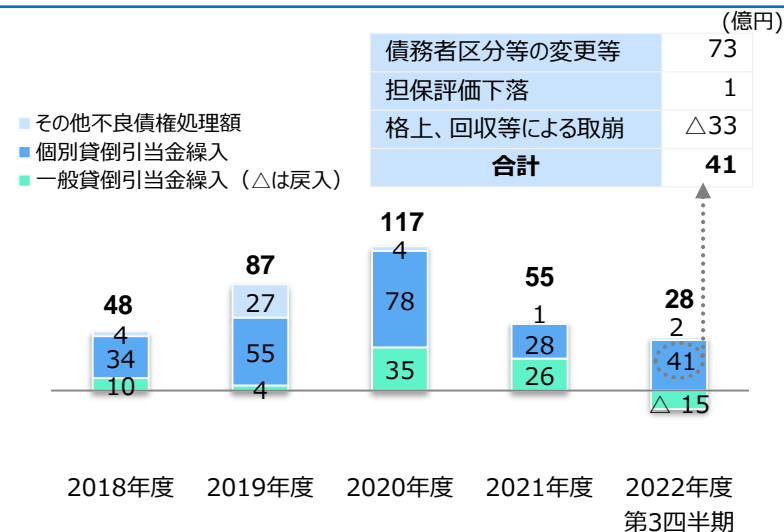


デフォルト確率（PD）の推移

※ 正常先、要注意先のPD（先数ベース）



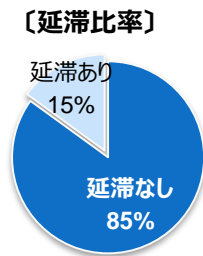
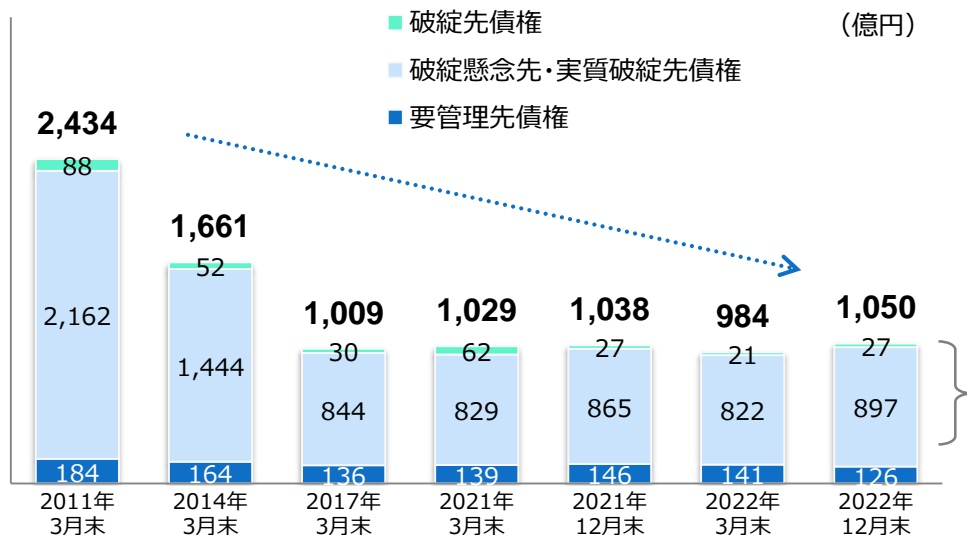
引当金繰入額およびその他不良債権処理額の推移



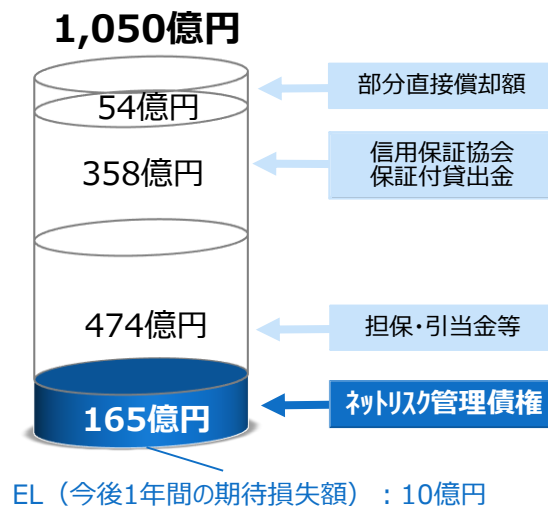
リスク管理債権（金融再生法開示債権※）（静岡銀行単体）

2022年3月末比、全体では増加するもネットリスク管理債権は低水準で推移

リスク管理債権の推移



ネットリスク管理債権

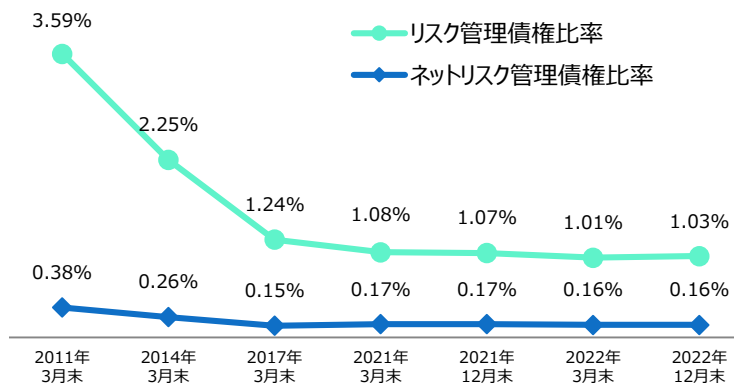


不良債権のオフバランス化実績

(億円)	2021年度	2022年度第3四半期
新規発生	+295	+246
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△340 (△307)	△180 (△154)
リスク管理債権	984	1,050

項目	金額
本人弁済 預金相殺	△47
担保処分 代位弁済	△48
格上	△40
債権売却	△18

リスク管理債権比率推移

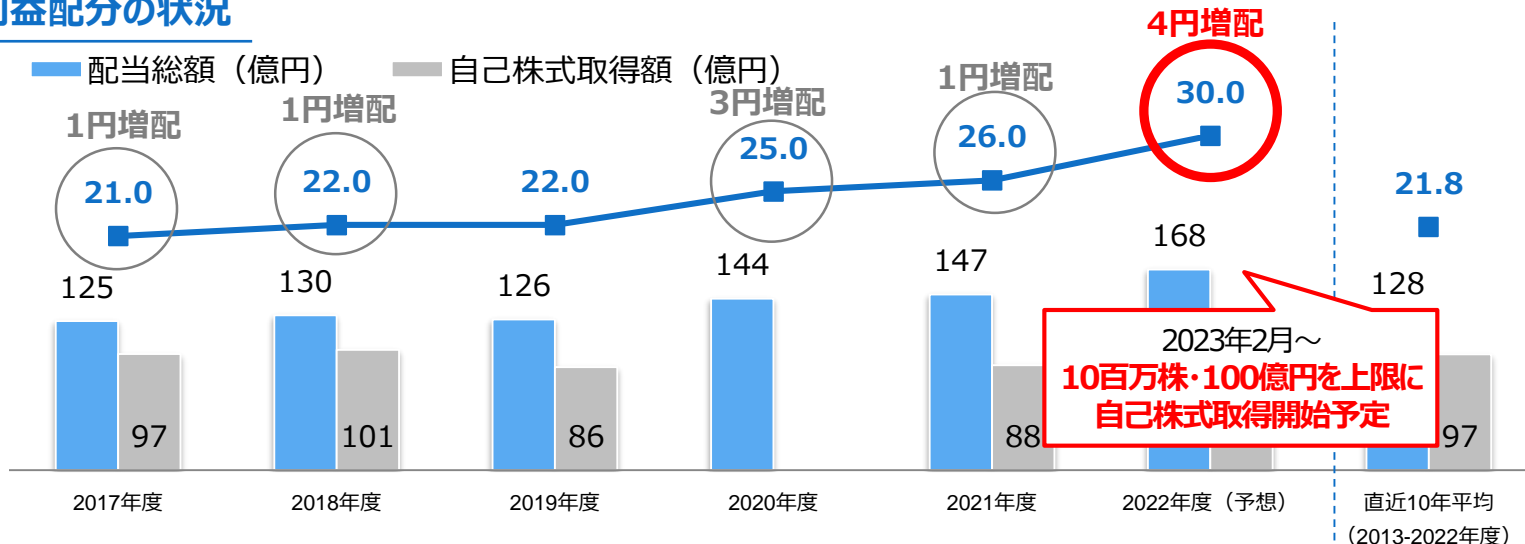


※ 銀行法施行規則改正に伴い2022年3月末より金融再生法開示債権の基準に統一。過去に遡って適用

株主還元

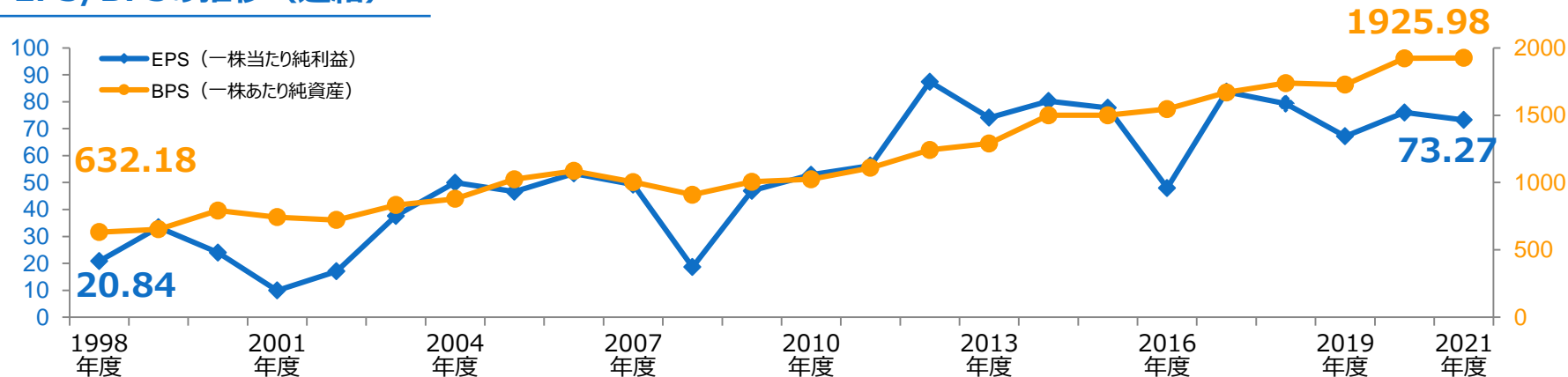
安定配当と機動的な自己株式取得を通じ、「中長期的に株主還元率50%以上」の目標達成を目指す

株主への利益配分の状況



配当性向	24.9%	27.6%	32.6%	32.8%	35.4%	31.0%	28.5%
総還元性向	44.3%	49.1%	54.9%	32.8%	56.2%	49.5%	50.0%
親会社株主利益	501億円	469億円	387億円	436億円	416億円	540億円	449億円

EPS/BPSの推移 (連結)



2022年度業績予想

連結経常利益は2022年度当初計画通り760億円を見込む

(億円)

	2020年度 実績	2021年度 実績 (A)	2022年度 予想 (B)	前年度比 (B-A)	2022年度 第3四半期 実績 (C)	進捗率 (C÷B)	
連結	経常利益	633	542	760	+218	558	73.4%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	436	416	540	+124	397	73.4%
	ROE	4.1%	3.8%	4.7%	+0.9pt	4.8%	—
	OHR	59.5%	64.2%	56.5%	△7.7pt	61.2%	—

単 体	業務粗利益	1,385	1,347	1,490	+143	1,073	72.0%
	資金利益	1,147	1,245	1,215	△30	919	75.6%
	役務取引等利益	159	148	205	+57	158	76.9%
	特定取引利益	9	9	10	+1	13	127.2%
	その他業務利益	70	△55	60	+115	△17	△27.7%
	経費 (△)	844	882	875	△7	653	74.6%
	経常利益	515	453	645	+192	520	80.6%
	当期純利益	355	361	450	+89	384	85.2%
	与信関係費用 (△)	117	55	70	+15	28	40.6%

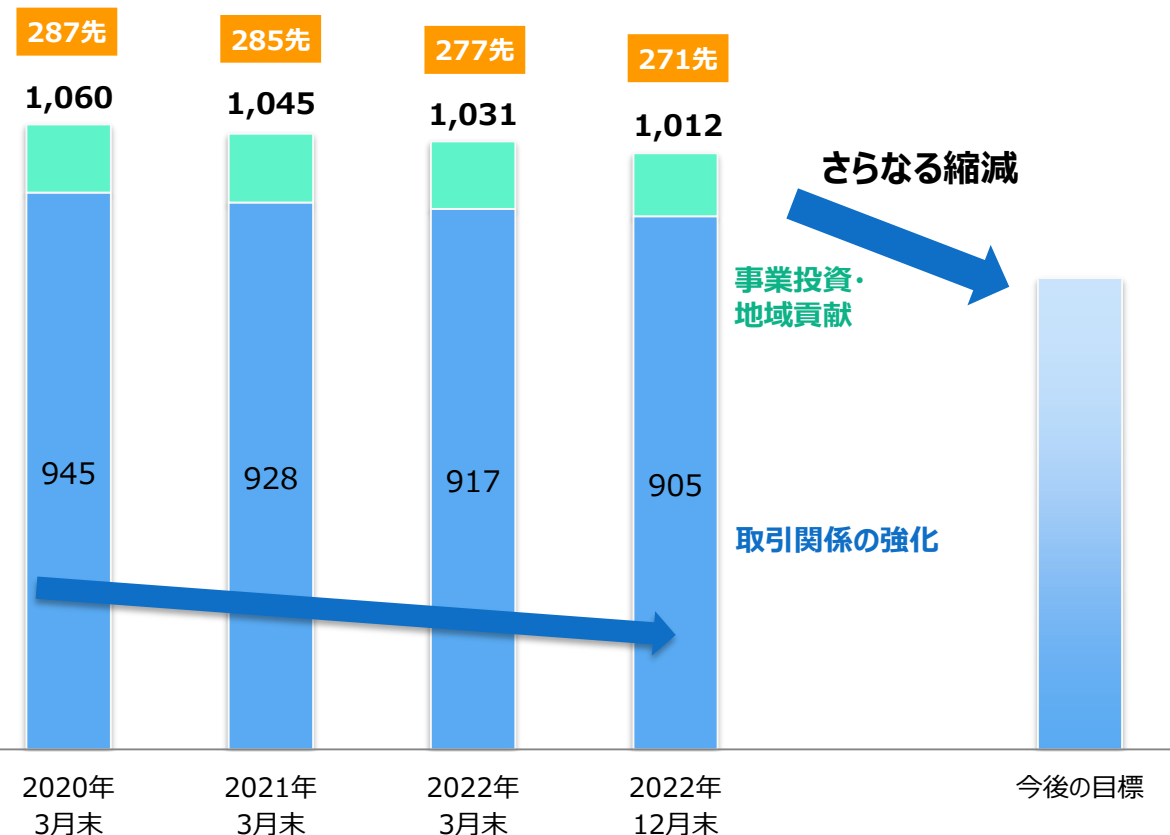
政策投資株式

政策投資株式は、縮減を基本方針とし、売却対象銘柄を選定のうえ継続的に売却を進捗

政策投資株式取得原価の推移 ※1

(億円)

■ 銘柄数



※1 グループ会社および持分法適用関連会社の株式を除く

【売却実績】

(億円)	売却額	取得原価ベース	売却損益 ※2
2020年度	89	16	73
2021年度	42	15	27
2022年度 第3四半期	150	38	113
合計	281	69	213

※2 償却を除く

【売却応諾額】 (29銘柄)

(億円)	売却見込額	取得原価ベース	評価損益
2022年 12月末時点	474	122	352

売却益は、システムや人財への投資、ベンチャー育成、有価証券ポートフォリオの適正化等に活用

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

〔本件に関するご照会先〕

株式会社 しずおかフィナンシャルグループ 経営企画部 経営企画室（古藤）

TEL：054-261-3111（代表） 054-345-9161（直通）

FAX：054-344-0131

E-mail：kikaku@jp.shizugin.com URL：<https://www.shizuoka-fg.co.jp/>